

隠岐の自然と人の学習帳

～ 国立公園・ジオパークを活かした授業・活動プログラム集 ～



はじめに

隠岐地域は、地形・地質資源や独自の生態系などの優れた自然環境と、特有の歴史文化を有する地域であり、昭和 38 年に我が国を代表する自然の風景地として、大山隠岐国立公園に指定されました。また、近年は、隠岐 4 町村の自治体や観光団体、有識者等から構成される隠岐世界ジオパーク推進協議会が、隠岐島全域を対象として、地形・地質を保全しながら、観光や教育などに活用し、地域の持続的な発展につなげる取り組みを推進しています。その取り組みが評価され、平成 25 年 9 月には世界ジオパークネットワークへの加盟が認められました。

他方、教育の分野においては、持続可能な社会の構築に向けて、環境や環境問題への関心や理解を深め、環境に対する人間の責任と役割を理解し、環境保全に参加する態度と環境問題解決のための能力を育成するための環境教育の取り組みが一層重要になっています。

隠岐においても、小中学校において総合的な学習の時間や理科・社会の授業の中で、ジオパークの視点を取り入れた環境学習をおこなったり、公民館や自治会活動として郷土の自然や歴史・文化を学ぶ機会が増加してきています。また、観光協会や観光事業者も隠岐ならではの資源を観光客へ提供するためのガイドツアーや自然体験活動の実施、ガイドの育成などの取り組みが始まっています。

しかし、これらの取り組みを推進する上で、学校や公民館、観光事業者等が、隠岐で環境学習を行うための体系的かつ具体的なプログラムが不足しているという課題も指摘されています。

「隠岐の自然と人の学習帳」は、この課題に対応するために、学校教育や社会教育のさまざまな場面において、世界に誇るべき隠岐の優れた自然や歴史・文化を深く知るための情報やプログラムを提供することを通して、現在の隠岐を支える大人や将来を担っていく子ども等の地域住民や、隠岐を訪れる観光客にその魅力を伝え、誇りや魅力を感じてもらうことを目的としています。

目次

はじめに

目次

1. 「隠岐の自然と人の学習帳」の目的と到達目標 … 1
 - 1) 「隠岐の自然と人の学習帳」の目的
 - 2) 「隠岐の自然と人の学習帳」の到達目標
2. 学習帳の構成と利用方法 …… 3
 - 1) 基本シート
 - 2) プログラムシート
 - 3) フィールド資料集
3. 環境教育に取り組む際のガイドライン …… 5
4. 野外体験に当たっての注意事項 …… 6
 - 1) 服装や持ちもの
 - 2) 事前の確認事項
 - 3) 事後評価
 - 4) 緊急時の連絡体制フロー図
 - 5) プログラム事後評価シート
5. 隠岐地域の代表的な環境学習施設 …… 10
6. ガイドリスト …… 13

1. 「隠岐の自然と人の学習帳」の目的と到達目標

1) 「隠岐の自然と人の学習帳」の目的

環境教育の目的は、1975年度国際環境教育会議で採択されたベオグラード憲章をはじめ、数多くの議論が重ねられ、理解が深められてきました。直近では、2014年に国立教育政策研究所から学校における持続可能な発展のための教育（ESD）に関する研究の最終報告書において、6項目の概念と重視する能力・態度（例）が提示されたところです。

本学習帳では、これらを念頭においた体験プログラムを作成し、隠岐の国立公園や世界ジオパークに代表される自然や文化への理解を深める活動を通じて、人の生活が環境の恵みの上に成り立っており、それらの資源や環境が限りあるものであることを実感し、将来にわたって豊かな自然や文化を受け継ぐ意思と行動力のある人材を育成することをねらいとします。

持続可能な社会づくりの構成概念 (ESDの要素)

①多様性

自然や文化、社会などは多種多様な事物・現象が存在しており、それらの多様性を尊重するとともに、多面的に見たり考えること。

②相互性

自然や文化、社会などはそれぞれが互いに働きかけあい、物質やエネルギーなどが循環しているシステムであることを認識すること。

③有限性

自然や文化、社会などを成立させている要因や資源は有限であり、将来世代のために資源を有効に使用したり、有限資源の社会の発展には限界があることを認識すること。

④公平性

一人一人の人権や生命が尊重され、他者を犠牲にすることなく、権利の保障や恩恵の享受が公平であること。

⑤連携性

多様な主体の連携・協力のため、意見の異なる場合なども状況に順応したり、調和を図ることで、互いに協力して問題を解決すること。

⑥責任性

現状を合理的・客観的に把握した上で意思決定し、望ましい将来像にむけて、一人一人がその責任と義務を自覚し、自ら進んで行動すること。

ESDの視点に立った 学習指導で重視する能力・態度

①批判的に考える力

客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜く力

②未来像を予測して計画を立てる力

過去や現在に基づいて未来像を予想し、他者と共有しながら、ものごとを計画する力

③多面的、総合的に考える力

人・自然・社会などのつながりや広がりを理解し、多面的、総合的に考える力

④コミュニケーションを行う力

自分の気持ちや考えを伝え、他者の気持ちや考えを尊重する力

⑤他者と協力する態度

他者の考えや行動に共感するとともに、協力・協働してものごとを進める態度

⑥つながりを尊重する態度

人・自然・社会などのつながりに関心をもち、それらを尊重し大切にすること

⑦進んで参加する態度

集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、役割を理解するとともに、主体的に参加しようとする態度

※「ESDの学習指導過程を構想し展開するために必要な枠組み」（国立教育政策研究所 教育課程研究センター）より一部抜粋

2)「隠岐の自然と人の学習帳」の到達目標

上述した目的を達成するため、本学習帳で作成するプログラムは、活動や体験を重視した参加・体験型のものとしてしています。また、隠岐の自然や歴史・文化を体系的かつ効果的に学習するため、以下のとおり、対象や成長段階（学校教育）に応じた到達目標を設定し、それに沿ったプログラムとしています。また、**小中学校用のプログラムについては、学校授業の中で活用しやすいよう、各教科・単元と整合したテーマ・構成**としています。

プログラムを行う上では、前述の「ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度」の中で、「多面的、総合的に考える力」と「進んで参加する態度」を特に重視しています。プログラムの実施を通じて、人・自然・社会の多様性や様々な価値観、多面的なものの見方を理解し、5感を活用した環境とのふれあいを通して豊かな感情を育成するとともに、自分たちで何ができるのかを主体的に考え、行動できる人材を育成することを目標としています。

■児童・生徒（小中高生）

□小学校低学年

テーマ：自然や文化に親しむ（感性）

自然や身の周りの環境に対する感受性や興味・関心を高めるとともに、自然のすばらしさや生命の大切さを感得できるよう配慮する。五感を活用した環境とのふれあい体験等を通じて環境に対する感性や環境を大切に思う気持ちを育てる。

□小学生中学年～高学年

テーマ：自然や文化を学ぶ（知識）

中学年では、自然や社会についての豊かな体験を通して、人と環境とのかかわりに目を向け、いろいろなものと比較して、類似点や相違点を見つけることができるよう配慮する。高学年では、自ら収集した情報をもとに、問題を見だし、判断したり推理したりできるようになり、自分たちに何ができるかななどの行動力を育てる。

□中学生

テーマ：自然や文化を守る（行動）

抽象的な概念の理解が次第に深まってくるとともに、意図的で計画的な行動ができるようになる。多面的な思考も可能となり、学習した知識と自らの感性に基づき、問題を総合的に思考・判断し、環境改善のために主体的に働きかける態度を養う。

□高校生

テーマ：自然や文化を伝える（行動）

「持続可能な社会」の主体者として、環境に対する豊かな感性と愛情の上に、人と環境との関わりを理解し、環境問題に対する科学的かつ合理的な判断・解決能力を育成する。また、将来目標を描き、主体的に責任ある行動がとれる人材を育成する。

■地域住民・事業者（活用・教育）

テーマ：自然や文化を引き継ぐ

国立公園や世界ジオパークに登録された自然や文化に興味をもち、正しく理解し、それを保全しながら持続的に活用することを通して、ふるさとを将来に引き継いでいく意識と行動をもった人材を育成する。また、観光客に対し、自分の言葉で隠岐の魅力を伝えることのできる人材を育成する。

■観光客（参加・支援）

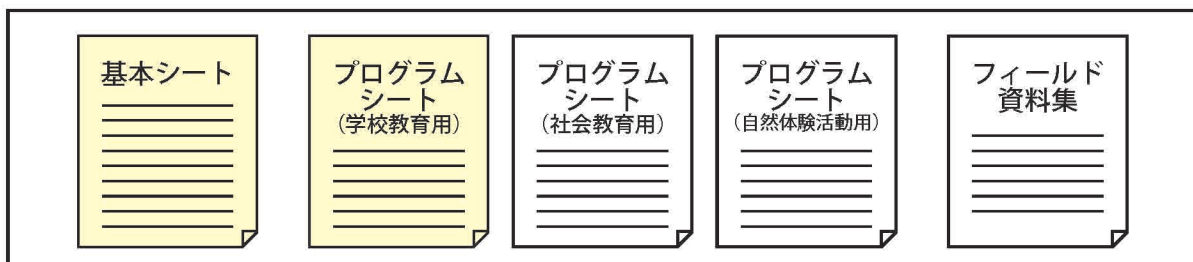
テーマ：隠岐の自然や文化の支援者になる

隠岐の自然や文化を楽しみ、深く感動することを通して、隠岐の自然や文化を理解し、その保全や活用を支援する人を育成する。

2. 学習帳の構成と利用方法

隠岐の自然と人の学習帳は、興味関心や学習段階に応じて効果的に学習ができるよう、「基本シート」、「フィールド資料集」、「プログラムシート」の3種類のシートにより構成されています。

各シートは分割されており、使用するときは必要なシートだけを抜き出して使用できるようになっているほか、随時シートの追加や更新が可能になっています。



隠岐の自然と人の学習帳

1) 基本シート

隠岐の自然や文化等に関する学習において、必要な情報をテーマ別に1枚程度にまとめたシートです。隠岐地域の特徴を学ぶ上では通常の教科学習では扱わない概念が出てきたり、整理を要する複雑な情報があります。学習活動の中で、予備知識の習得やまとめの解説などに適宜活用してください。

以下の表は、作成する基本シートの概要を示したもので、今後、必要に応じて追加されます。

テーマ	内容
1. 国立公園について	国立公園の制度や意義、大山隠岐国立公園の沿革、区域、特徴や取組内容など
2. ジオパークについて	ジオパークの仕組みや目的、隠岐世界ジオパークの沿革、区域、特徴、取組内容など
3. 隠岐のなりたち～地史～	島の成立経緯（大陸の時代→日本海形成の時代→火山島の時代→半島から孤島へ）
4. 隠岐のなりたち～地形～	海食海岸、島前カルデラ、スコリア丘など
5. 隠岐のなりたち～地質・岩石～	隠岐片麻岩、流紋岩、黒曜石、グリーンタフ、玄武岩など
6. 隠岐の自然～陸上植物～	大陸性、高山性、北方性、南方性、などの性質や固有種などさまざまな植物が同所的に生育している状況など
7. 隠岐の自然～陸上動物～	オキサンショウウオなどの固有種のほか、希少な鳥類や昆虫類、貝類などの生息地など
8. 隠岐の自然～海域～	対馬暖流と日本海固有水の影響、藻場やアマモ場の規模の大きさや希少種の多さなど
9. 隠岐の歴史・文化～牧畑～	島前の景観を代表する牧畑景観、淡水レンズのしくみなど
10. 隠岐のくらし	各町村の人口、産業構造など
11. 海岸の漂着物	漂流ごみの影響、隠岐の現状など

2) プログラムシート

隠岐の自然や文化などを体験的に学習できるプログラムを1枚程度にまとめたシートです。個々のプログラムは1つで完結していますが、状況に合わせて複数のプログラムを組み合わせることで、より学習効果を高めることができます。また、プログラムはあくまで例です。それぞれの状況に合わせて、アレンジして活用して下さい。

プログラムは、使用する目的別に、学校教育用（小中学校）、社会教育用（公民館や自治会活動等）、自然体験活動用（観光ガイド等）に分けられています。同じ場所で実施するプログラムであっても、ねらいや対象（小学生中学年～高学年、中学生、一般など）に応じて、数種類のプログラムを行うことを想定して作成しています。また、プログラムによっては、各学校の立地条件などに応じて、実施できないものも含まれます。各プログラムシートにプログラムが実施できる場所を例示していますので参考にしてください。

プログラムを実施する際は、プログラムシートをコピーして使用してください。

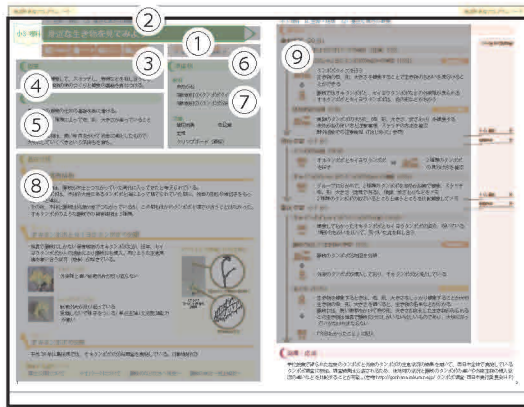
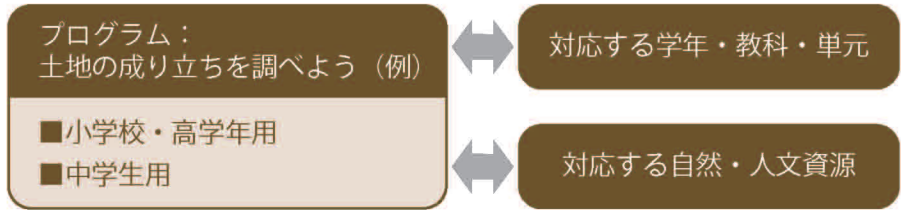
■学校教育用プログラム

小学校中学年～高学年、中学校の理科・社会の時間に使用することを想定したプログラムで、教員用シートと児童・生徒用シート（ワークシート）から構成されます。

1つのプログラムの所要時間は、学校授業の中で活用しやすいよう、単位時間（小学校 45 分、中学校 50 分）として作成しています。

プログラムごとに、対応する教科・単元が示されていますので、授業計画に合わせて、実施するプログラムを選択することができます。また、複数のプログラムを組み合わせることで、総合的な学習の時間にも活用することを想定しています。

各プログラムのページは下図のように、同様の構成でレイアウトされています。活動がどのような内容なのかを大まかに知りたいときは、プログラムの概要と対応する単元をご覧くださいとよいでしょう。



- ①タイトル
- ②対応する単元：学習指導要領に基づき、プログラムに対応する教科単元を記載しています。
- ③利用の目安：プログラムの所要時間や実施の時期、人数、天候についてアイコンで記載しています。
- ④概要：プログラムの内容を簡潔に記載しています。
- ⑤ねらい：学習指導要領などに基づき、学習者が獲得してほしい知識・理解や能力、態度を記載しています。
- ⑥プログラムが実施できる資源：プログラムの対象となっている自然や歴史・文化的な資源のある場所を例示しています。

学校授業で活用する際の観察・利用のしやすさなども考慮して選定しています。

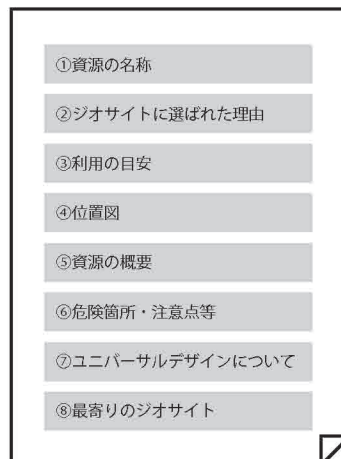
- ⑦準備物：プログラム実施にあたって必要なものを記載しています。
- ⑧基礎知識：プログラムを実施するにあたって必要な情報について、教科書にある基本的な情報に加えて隠岐の特徴についても簡潔に整理しています。また、関連する基本シートの番号を掲載して、背景情報を得やすくしています。
- ⑨進め方：「事前学習」「現地学習」「事後学習」の順に授業の進め方とタイムスケジュールを示しています。また、プログラムによっては、「発展・応用」の活動例を記載し、総合的な学習の時間等に活用してもらうことを想定しています。

■社会教育用プログラム（公民館や自治会活動等） ※随時追加

■自然体験活動用プログラム（観光ガイド等） ※随時追加

3) フィールド資料集

隠岐の自然や文化等について、場所ごとにその特徴や見所などを数枚にまとめたシートです。学習活動を実施する前に、実施場所の概要を把握することができます。各資源のページは右図のように、同様の構成でレイアウトされています。



- ①資源の名称
- ②ジオサイトに選ばれた理由
- ③利用の目安：所要時間、利用人数、駐車場や公衆便所等の施設の有無など
- ④位置図：みどころや各施設、危険箇所等の位置
- ⑤資源の概要：みどころと解説
- ⑥危険箇所・注意点等
- ⑦ユニバーサルデザインについて：段差など
- ⑧最寄りのジオサイト

3. 環境教育に取り組む際のガイドライン

体験的な環境教育に取り組む場合、あらかじめ決まっている知識を伝授するのみではなく、学習者が主体となって学習活動に取り組み、その中で起こるリアルな体験、すなわち疑問、発見、葛藤などを有効に学習の中に取り入れるという手法が有効です。このため、本プログラムを展開していく際に留意していただきたい事項、キーワードを以下のように整理しました。

楽しく学ぶ

すでに知られている事実（教科書的な知識）よりも、自ら気づいていくプロセスや、新たな発見を楽しむことを重要視することから、プログラム実施者は、学習者をやってみたいという気持ちにさせることが求められます。一方、あらかじめ意図していた結論に導いたり、学習者の考えを否定したり、評価したりする態度は慎まなければなりません。

ともに学ぶ

数人の小グループやクラス単位でのグループワークによって、違いを感じることや、新たな気づきを大切にすることで、学びの幅が広がるでしょう。活動の後半におこなう「ふりかえり」や「わかちあい」の時間は、活動の中で自分が何を体験し、何を感じたのかをふりかえり、体験した仲間とそれを報告しあいます。そのことで、体験したことの意味や、次の取り組みについて考えることができます。

プログラムの構成

プログラムは、事前学習、現地学習、事後学習の3つに大きく分類してあります。

■事前学習

事前学習では、野外での自然体験活動を行う前の動機付けや基礎知識の提供、アイスブレーキングを行います。クイズやゲーム、体を動かすプログラムなどにより、**学習者が想像力を働かせたり、関心を高めることを重視し、正解や結論は後回し**とします。なお、プログラムによって教室で行う場合と現地で行う場合があります。

■現地学習

現地学習は、野外での自然体験活動を中心して、**学習者自身が不思議に感じたり、発見することや、グループの協働を重視した活動**を行います。また、冒頭には、安全上の注意点やマナー（動植物の採取・捕獲、ごみの持ち帰り等）の喚起を行います。学習者の好奇心をくすぐること、指導者も楽しむこと、知識に加えて、より体験を重視すること、などがポイントとなります。

■事後学習

事後学習では、観察・調査した結果のまとめや発表、関連事項に関する調べ学習などを実施し、現地学習で発見したり、学んだことの「ふりかえり」や「わかちあい」を行います。**学習者自身が考え、話し合い、表現していくことを大切に**します。現地で発見したことをふりかえり、誰かに伝えること、グループワークで意見を出し合ったり、発見したことを共有することがポイントとなります。

4. 野外体験に当たっての注意事項

野外体験は、直接本物を体験できることから得られる感動も大きい一方、さまざまな危険をはらんでいます。また、自然体験の実施は、活動の内容にもよりますが、自然環境にインパクトを与えてしまう可能性があります。いい体験を持続的に実施できるよう、以下に危険予知と利用ルールについて例示します。各項目はチェックボックスにしていますので、プログラムの実施にあたっては、適宜コピーして活用してください。

1) 服装や持ちもの

動きやすい服装、歩きやすい靴、帽子、水筒、タオルなど

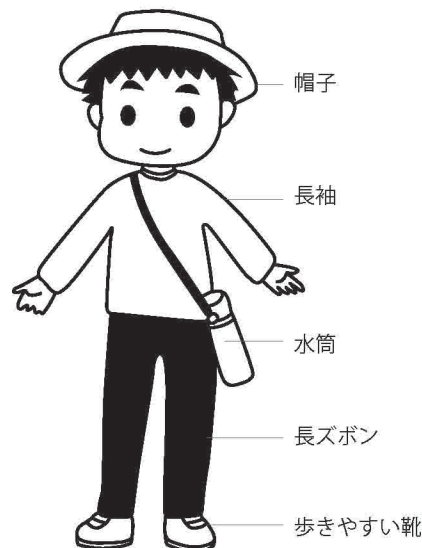
自然観察などをおこなう場合の衣服や靴について、ハチやケムシなどの虫やかぶれる植物やトゲ植物から体を保護するため、**夏でも腕や足を出さない長袖、長ズボンが原則**です。また、熱中症対策として、**帽子や水筒も必ず持つ**ようにしましょう。

救急用品、日焼け止め・虫よけ（必要に応じて）などの準備

消毒液、絆創膏、虫刺され薬（抗ヒスタミン剤）、ポイズンリムーバーなどの救急用品のほか、必要に応じて、日焼け止めや虫除けなどを準備してください。

観察道具や資料の準備

プログラムシート及びそこに記載してある観察道具や資料を準備してください。よく使うものとしては、筆記用具、虫めがね（ルーペ）、ビニール袋、軍手、地図、方位磁針などがあります。



2) 事前の確認事項

教育委員会への申請

学校が現地学習に出かける際は、所属の教育委員会に校外学習の申請を行って、行先・日時・活動内容などを伝えとともに、教育委員会から以下に例示するような情報を得るようにしてください。島外に現地学習に行く場合にも、行先の教育委員会に同様の連絡を行い、必要な情報を得るようにしてください。

講師との事前打ち合わせ

実施日の前に講師と活動の狙い、進行、時間配分、悪天時の対応などを説明し、講師に依頼したい項目・内容についてよく協議して、実施日の前日に再度予定の確認を行ってください。

天候の事前確認

注意報や警報の発令状況や現地の状況を踏まえて実施の可否を判断してください。また、プログラムによっては、教室や博物施設など屋内で実施できるものもありますので、荒天時の代替プログラムとして活用を検討してください。

海辺での活動では、あらかじめ潮汐の時間と海面の高さを調べた上で日時や場所を決定し、数日前から当日にかけて波の高さや風向きの変化に注意を払い、安全な活動ができるかどうか判断してください。

現地の下見

事前の下見は危険の回避に大変有効ですので是非実施をしてください。また、その際は、以下の点に注意しながら確認をしてください。また、フィールド資料集にも、危険箇所の情報が記載されていますので、参考にしてください。

①危険箇所の有無

流れの速い川、海辺などの滑りやすい場所、迷いやすい場所、落石や転落の危険のある斜面などの確認

②危険生物の有無

毒ヘビ、ハチ、ツタウルシなどの生息・生育状況の確認。わからない場合は、ガイドなどに相談してください。

③施設の確認

トイレ・休憩所のほか、にわか雨・雷など緊急時の避難場所の確認

④緊急時の連絡手段

病院までの距離や経路、携帯電話の電波受信状況や公衆電話の有無

注意事項

体験学習を行う資源は、大山隠岐国立公園や文化財に指定されているほか、隠岐世界ジオパークに登録された大変貴重なものばかりです。体験学習を通して自然や文化財を大切に考え、行動できる気持ちや知識、態度を養うための場所であることを意識して、最低限、以下のルールを守るよう伝えてください。

①ごみは持ち帰る

残飯などは、本来そこにはいない生物を誘引したり、野生生物の行動を変化させるなど、もともとの生態系を壊してしまう原因となります。また、ごみが放置されれば海岸漂着ごみの問題などにも直結します。みんなが利用する場所であり、きれいにしておく必要があることを認識させるようにしてください。

②コースから外れない

迷い込み等による事故につながるほか、貴重な植生の踏み荒らしの原因となります。

③資源（岩石、地形、建物）をむやみに傷つけたり、持ち帰ったりしない

プログラムによっては生き物採集などもありますので、不明な点があれば、事前にガイドなどに相談してください。

緊急時の対応

事故が起こったときの「連絡体制」「病院の連絡先」を確認しておいてください。

3) 事後評価

事後評価の実施

プログラムの実施後は、「事後アンケート（はじめにP.9）」にご協力ください。記入した事後アンケートは、所属の教育委員会の指導主事にFAXや郵送等で提出してください。

5) プログラム事後アンケート ※コピーしてお使いください

主催者名（学校名等）		実施日時	年 月 日
主催者名（担当者名等）		参加人数	人
実施したプログラムの名称			
現地学習をした場所			
プログラムを実施して良かった点			
良くなかった点・改善すべき点			
プログラムを実施する上で工夫したことやプログラムの改良案			
その他・今後追加して欲しいプログラム及び補助教材の案			

■提出先：各町村の教育委員会の指導主事 ■提出方法：FAX や郵送等

隠岐の島町教育委員会 〒685-0022 隠岐の島町今津 346-2 TEL 08512-2-2095 FAX 08512-2-0619

西ノ島町教育委員会 〒684-0211 西ノ島町浦郷 544-38 TEL 08514-6-0171 FAX 08514-6-1028

海士町教育委員会 〒684-0403 海士町大字海士 1490 TEL 08514-2-1222 FAX 08514-2-1633

知夫村教育委員会 〒684-0102 知夫村 1065 TEL 08514-8-2301 FAX 08514-8-2302

5. 隠岐地域の代表的な環境学習施設

野外での生きもの観察や、口頭の説明だけではイメージしにくい概念など、体験プログラムを実施する上では、実際に標本や模型などを観察しながら学習していくことが必要です。以下に、隠岐の代表的な環境学習施設を記載していますので、プログラムの事前学習や事後学習、雨天時の代替プログラムとして、活用を検討してみてください。

隠岐自然館・隠岐ジオパークビジターセンター

場所	〒685-0013 隠岐郡隠岐の島町中町
TEL / FAX	08512-2-1583 / 08512-2-3950
料金	大人 300円 (小学生～中学生まで 150円) 団体割引：10名以上は50円割引 小・中・高校の利用については無料措置あり (※隠岐の島町観光課 TEL：08512-2-8575 に問い合わせのこと)
開館日	8:30～17:30 (ただし、1月～2月は17:00閉館) 年末年始は休館
内容	鳥、魚、虫、貝、花、石などを展示した隠岐の自然のすべてがわかる自然史博物館。隠岐世界ジオパークのビジターセンター機能も担う。専門職員によるガイドも可能。



五箇創生館

場所	〒685-0311 隠岐郡隠岐の島町郡 615-1
TEL	08512-5-2845
料金	大人 500円 (大学・高校生 300円、小・中学生 200円) 団体割引：15名以上は10%円割引 ※隠岐郷土館との共通券 (大人 650円、大学・高校生 400円、小・中学生 250円 要問合) ※小・中・高校の利用については無料措置あり (※隠岐の島町観光課 TEL：08512-2-8575 に問い合わせのこと)
開館日	9:00～17:00 (通年 / 12月～3月の土日祝および年末年始は休館)
内容	「牛突き大会」、「隠岐古典相撲」などに関する資料展示があり、スクリーン映像も観覧できる。



隠岐郷土館

場所	〒685-0311 隠岐郡隠岐の島町郡 755
TEL	08512-5-2151
料金	大人 300円 (大学・高校生 200円、小・中学生 100円) 団体割引：15名以上は10%円割引 ※五箇創生館との共通券 (大人 650円、大学・高校生 400円、小・中学生 250円 要問合) ※小・中・高校の利用については無料措置あり (※隠岐の島町観光課 TEL：08512-2-8575 に問い合わせのこと)
開館日	9:00～17:00 (通年 / 12月～3月の土日祝および年末年始は休館)
内容	明治に建てられた県指定建造物 (旧周吉外三郡役所庁舎) であり、現在は資料館として利用されている。中には考古資料から民俗資料、さらに動植物や岩石まで隠岐島の全てが分かる展示品が並べられている。水若酢神社に隣接。



億岐家住宅・宝物殿

場所	〒685-0017 隠岐郡隠岐の島町下西 713
TEL	08512-2-0571
料金	大人 300 円（高校生 250 円、小・中学生 100 円） 団体割引：15 名以上は大人 250 円 ※小・中学校の利用については無料措置あり（当該施設に問い合わせのこと）
開館日	8:00～17:00（通年／6月5日は休館）
内容	玉若酢命神社の宮司である億岐氏の住宅で、身分や用途によって入口が三つある隠岐独特の建築様式となっており、国の重要文化財に指定されている。幕末の隠岐騒動の時に付けられた大黒柱の刀傷や鉄砲跡の残された戸板を見ることができる。宝物殿には「駅鈴」、「億伎国倉印」などの重要文化財を展示している。



佐々木家住宅

場所	〒685-0002 隠岐郡隠岐の島町釜カス谷 17
TEL	08512-2-1290
料金	大人 411 円（小・中学生 206 円） 団体割引：15 名以上は大人 308 円、小・中学生 103 円 ※小・中・高校の利用については無料措置あり （隠岐の島町教育委員会 TEL：08512-2-2206 に問い合わせのこと）
開館日	9:00～17:00（3月～11月）
内容	隠岐を代表する木造住宅で国指定重要文化財になっている。隠岐造りと呼ばれる隠岐独自の建築様式で玄関が3つあるのが最大の特徴。入り口は身分の違いや用途によって使い分けられ、母屋は杉皮葺き、石置き屋根、切妻平屋建てで、天保7年(1836)に建てられたものである。



隠岐国分寺・蓮華会舞演舞場

場所	〒685-0007 隠岐郡隠岐の島町池田風呂前 5
TEL	08512-2-2934
料金	大人 400 円（小・中学生 200 円） 団体割引：15 名以上は大人 300 円、小・中学生 100 円 ※隠岐の島町の小・中学校の利用については無料措置あり （当該施設に問い合わせのこと）
開館日	8:30～17:30（3月21日～11月21日）※6月～9月は18:00まで
内容	聖武天皇によって全国に建立された国分寺の跡地であり、後醍醐天皇の行在所であったといわれており、国の史跡に指定されている。境内には、平安時代から伝承される貴重な芸能で、国指定重要無形民俗文化財である蓮華会舞の演舞場が設置されており、関連資料が展示されている。毎年4月21日の弘法大使の命日に、蓮華会舞の公演が行われる。



西ノ島ふるさと館

場所	〒684-0302 隠岐郡西ノ島町別府 56-10
TEL	08514-7-8877
料金	大人 300 円（大学・高校生 200 円、小・中学生 150 円） 団体割引：10 名以上は大人 250 円 ※黒木御所・碧風館との共通券（大人 400 円、大学・高校生 300 円、小・中学生 200 円） ※西ノ島町民は無料
開館日	9:00～17:00（4月～10月／月曜休館）
内容	西ノ島の自然と人の暮らしを集めた展示館。古くから伝わる漁具や民具・文化財などが展示されている。木村康信氏が隠岐近辺で採取した貴重な生物資料「木村コレクション」も展示されている。



海士町後鳥羽院資料館

場所	〒684-0403 隠岐郡海士町海士中里
TEL	08514-2-1470
料金	大人 300 円（大学・高校生 200 円、小・中学生 150 円） 団体割引：15 名以上は大人 250 円、大学・高校生 150 円
開館日	9:00～17:00（3月21日～11月20日）
内容	後鳥羽天皇ゆかりの品々などを中心に、考古資料や民俗資料など貴重な資料が展示されている。周囲には後鳥羽天皇行在所跡や御火葬塚、その墓守を代々務める村上家などが隣接する。



知夫村郷土資料館

場所	〒684-0102 隠岐郡知夫村郡
TEL	08514-8-2301（知夫村教育委員会）
料金	無料
開館日	不定（利用の際は必ず知夫村教育委員会に問い合わせのこと）
内容	知夫村内の農具・漁具などの民具や、土器・刀子・鍬・耳輪・勾玉等の副葬品・古文書などの各種文化財を収集し、展示している。



6. ガイドリスト

体験プログラムを計画したり、実施する中で、より専門的な内容をわかりやすく解説してくれるガイドが必要な場合は、以下の組織に相談してみてください。

■一般社団法人 隠岐ジオパークツアーデスク

内容	主に島後地域においてエコツアーを実施している。隠岐の地形地質、動植物、歴史文化など、幅広い分野に対応したガイドが可能
連絡先	08512-3-1005

■NPO 法人 隠岐しぜんむら

内容	主に島前地域においてエコツアーを実施している。隠岐の地形地質、動植物、歴史文化など、幅広い分野に対応したガイドが可能
連絡先	08514-2-1313

■隠岐の島町ふるさと案内人の会

内容	島後において自然・歴史・文化のガイドを実施
連絡先	08512-2-0787（窓口：隠岐の島町観光協会）

■西ノ島町ふるさと案内人の会

内容	西ノ島において自然・歴史・文化のガイドを実施
連絡先	08514-7-8888（窓口：西ノ島町観光協会）

■隠岐世界ジオパーク推進協議会

内容	隠岐世界ジオパークの推進主体であり、ジオパークに関する講演・イベント等が可能
連絡先	08512-2-9636

■環境省隠岐自然保護官事務所

内容	大山隠岐国立公園の隠岐地域を管轄し、国立公園に関する講演・イベント等が可能
連絡先	08512-2-0149

